
『美唄市立地適正化計画等の策定』に向けた
市民アンケート調査報告書

美 唄 市

平成30年7月

目 次

(1) アンケート結果概要	1
(2) アンケート調査結果	2
(3) アンケート票.....	30

(1) アンケート結果概要

①アンケート調査の日程

アンケート調査票の配付・回収期日は以下のとおりである。

- ・配付日：平成30年6月27日（水）
- ・回収期日：平成30年7月9日（月）

②配布数・回収率

アンケート調査票の配付数、回収数及び回収率は以下のとおりである。

- ・配付数：1,200件
- ・回収数：366件（回収率）30.5%

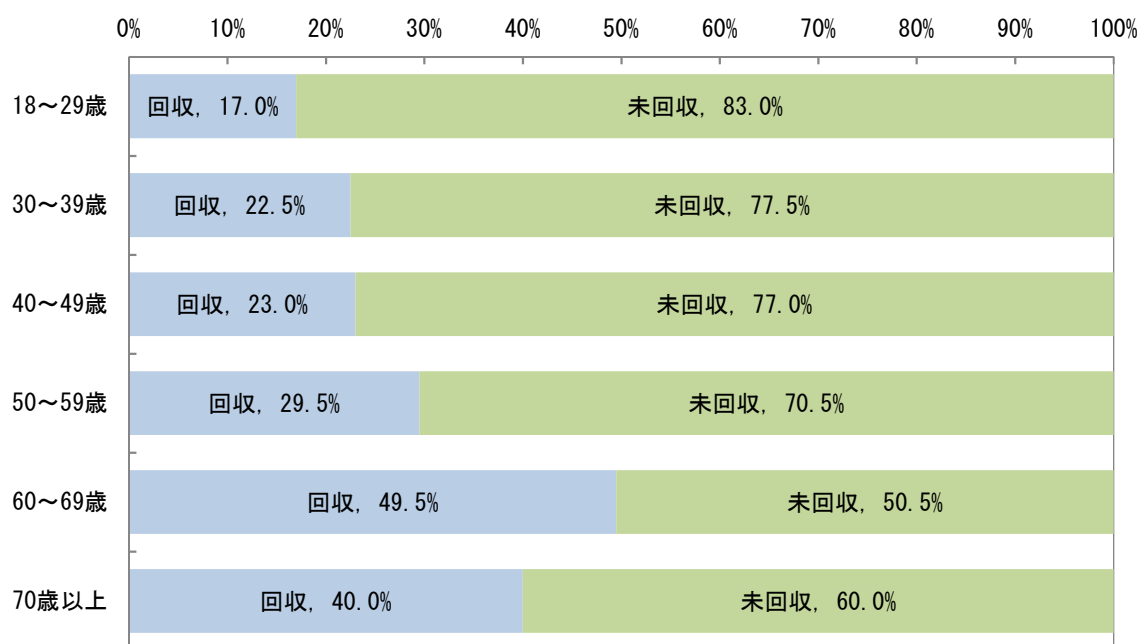
表 配付数・回収率

項目	配付数	回収数	未回収数
回答	1,200	366	834
構成比	100%	30.5%	69.5%

③年齢階層別回収率

アンケート調査票の年齢階層別回収率は、「60～69歳」が5割弱と最も高く、続いて、「70歳以上」が4割、「50～59歳」が3割弱の順となっている。40歳代以下の比較的若い世代の回収率が低くなっている。

図 年齢階層別回収数



(2) アンケート調査結果

1. あなたご自身のことについてお尋ねします。

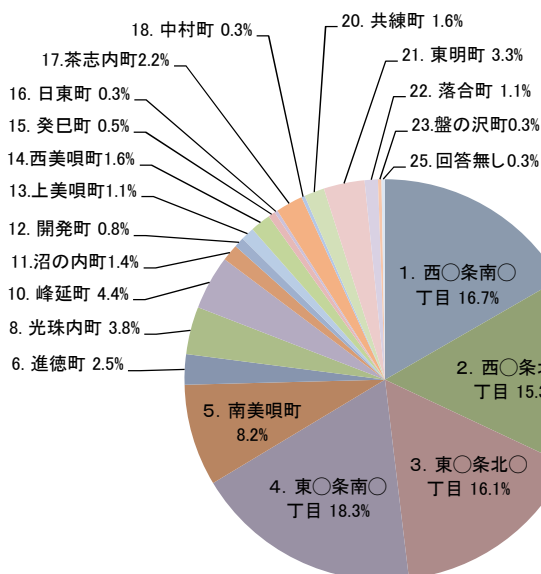
問1 お住まいの地域をお答えください。(一つに○)

【解説】

回答者の居住地域は、「4. 東○条南○丁目」が最も多く、続いて「1. 西○条南○丁目」、「3. 東○条北○丁目」の順となっている。この三つの居住地域の比率はともに2割弱となっている。

表 お住まいの地域

項 目	回答数
1. 西○条南○丁目	61
2. 西○条北○丁目	56
3. 東○条北○丁目	59
4. 東○条南○丁目	67
5. 南美唄町	30
6. 進徳町	9
7. 一心町	0
8. 光珠内町	14
9. 豊葦町	0
10. 峰延町	16
11. 沼の内町	5
12. 開発町	3
13. 上美唄町	4
14. 西美唄町	6
15. 癸巳町	2
16. 日東町	1
17. 茶志内町	8
18. 中村町	1
19. 北美唄町	0
20. 共練町	6
21. 東明町	12
22. 落合町	4
23. 盤の沢町	1
24. 我路町	0
25. 回答無し	1
合 計	366



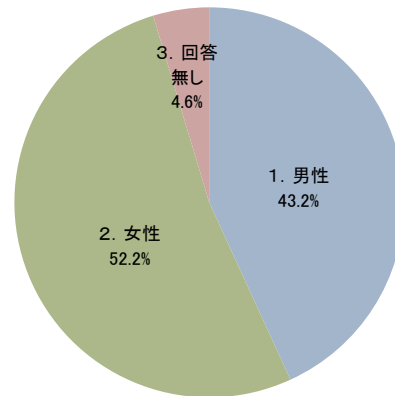
問2 「性別」と「年齢」をお答えください。(それぞれ一つに○)

【解説】

性別は、「2. 女性」が5割強、「1. 男性」が4割強と「2. 女性」が高くなっている。

表 性別

項 目	回答数
1. 男性	158
2. 女性	191
3. 回答無し	17
合 計	366



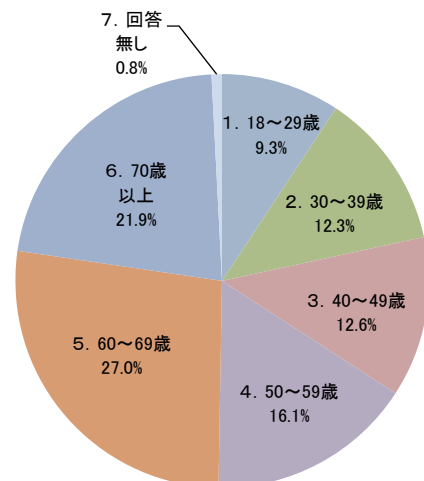
②年齢

【解説】

年齢階級は、「5. 60～69 歳」が3割弱と最も多く、続いて「6. 70 歳以上」が2割強、「4. 50～59 歳」が2割弱の順となっている。60 歳台以上が約半数を占めている。

表 年齢階級

項 目	回答数
1. 18～29 歳	34
2. 30～39 歳	45
3. 40～49 歳	46
4. 50～59 歳	59
5. 60～69 歳	99
6. 70 歳以上	80
7. 回答なし	3
合 計	366



2. あなたのお住まいについてお尋ねします。

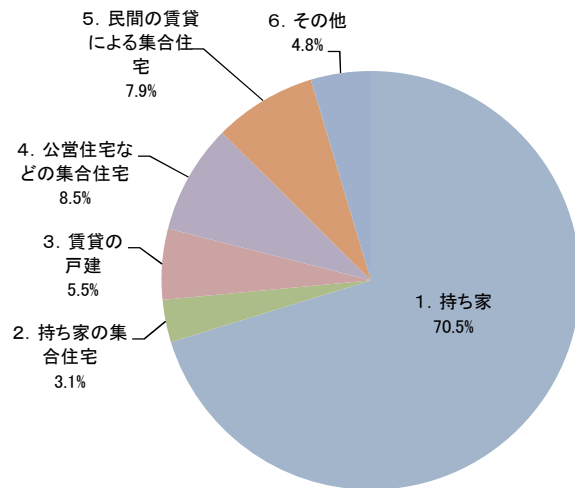
問3 お住まいになっている住宅の「種類」をお答えください。(一つに○)

【解説】

回答者の住宅の種類は、「1. 持ち家」が7割と最も多く、続いて「4. 公営住宅などの集合住宅」及び「5. 民間の賃貸による集合住宅」が1割弱となっている。

表 住宅の種類

項 目	回答数
1. 持ち家（戸建住宅）	257
2. 持ち家の集合住宅 （長屋建・共同住宅）	12
3. 賃貸の戸建	20
4. 公営住宅などの集合住宅	31
5. 民間の賃貸による集合住宅	29
6. その他（自由記述）	17
7. 回答なし	0
合 計	366



6. その他（自由記述）

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・施設入所：5件 ・社宅（教員住宅）：2件 ・病院 ・親の家 ・寺院 | <ul style="list-style-type: none"> ・賃貸アパート ・駐屯地 ・事業所 ・炭鉱住宅 |
|--|--|

問4 お住まいになっている住宅の「築年数」をお答えください。(一つに○)

【解説】

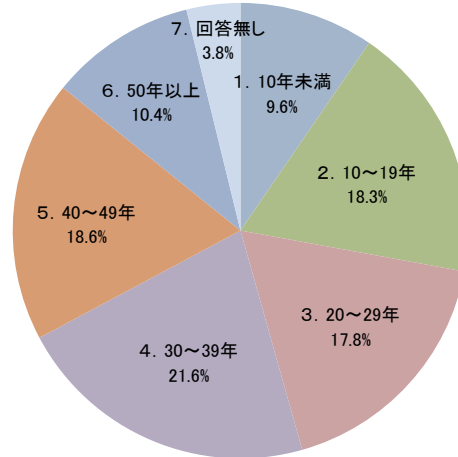
住宅の築年数は、「4. 30～39年」が2割強と最も多く、続いて「5. 40～49年」と「2. 10～19年」が2割弱となっている。30年以上の住宅が全体の半数以上となっている。

【方向性】

- ・問2②の年齢が「59歳以下」、問3の住宅の種類が「持ち家（戸建住宅）」、かつ問4の築年数30年以上について、現在人口に換算すると市街地が約2,200人、郊外は約900人が該当する。
- ・この郊外の方約900人へは、問10で質問している「住宅購入に対する支援」や「転居に伴う費用に対する支援」を取り入れることにより、中央部への住み替えを促すことになる。

図 住宅の築年数

項 目	回答数
1. 10年未満	35
2. 10～19年	67
3. 20～29年	65
4. 30～39年	79
5. 40～49年	68
6. 50年以上	38
7. 回答なし	14
合 計	366



問5 ご自宅から鉄道・バス利用のための移動についてお尋ねします。「現在の立地環境」と「理想と考える立地環境」から鉄道駅やバス停留所（市民バス西線の場合は乗り降りできる場所）までの徒歩での所要時間をお答えください。（それぞれ一つに○）

①鉄道駅

【解説】

鉄道駅の誘致圏を徒歩 10 分未満と想定し、「1. 徒歩 5 分未満」と「2. 徒歩 5 分～10 分未満」を合計すると、「現在の立地環境」が 2 割弱に対し、「理想と考える立地環境」は 6 割弱と「理想と考える立地環境」が 4 割高い。

【方向性】

a) 郊外部

- ・峰延、進徳、沼の内、上美唄、癸巳、共練及び南美唄は、長期的に駅周辺への住み替え・移転したい傾向の高い地区であり、短期的には駅までの公共交通を確保していく地区である。

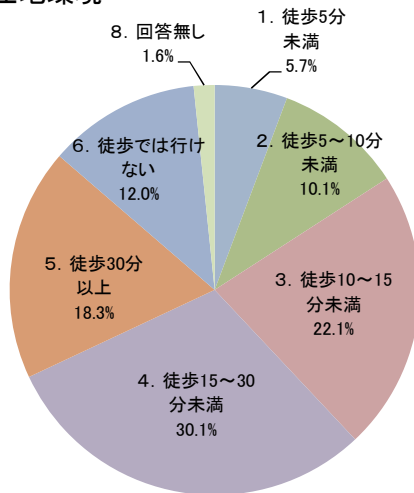
b) 市街地

- ・長期的には駅周辺への住み替え・移転を促進していく地区であり、より市街地としての利便性を高めるためバスの増便で待ち時間を短縮するなど公共交通を充実していく。

表 鉄道駅までの所要時間

項 目	回答数	
	現在の立地環境	理想と考える立地環境
1. 徒歩 5 分未満	21	62
2. 徒歩 5～10 分未満	37	148
3. 徒歩 10～15 分未満	81	77
4. 徒歩 15～30 分未満	110	30
5. 徒歩 30 分以上	67	7
6. 徒歩では行けない	44	16
7. 無効	0	1
8. 回答無し	6	25
合 計	366	366

現在の立地環境



理想と考える立地環境

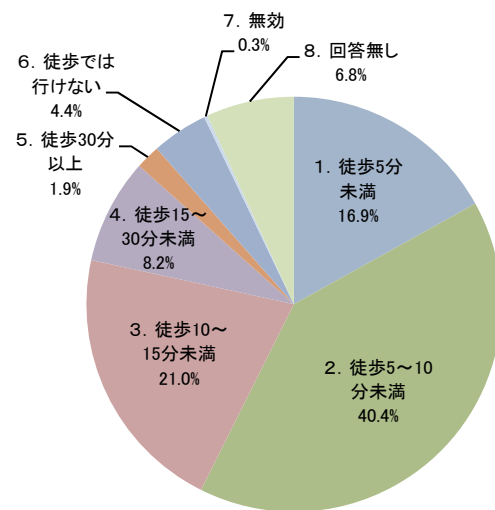
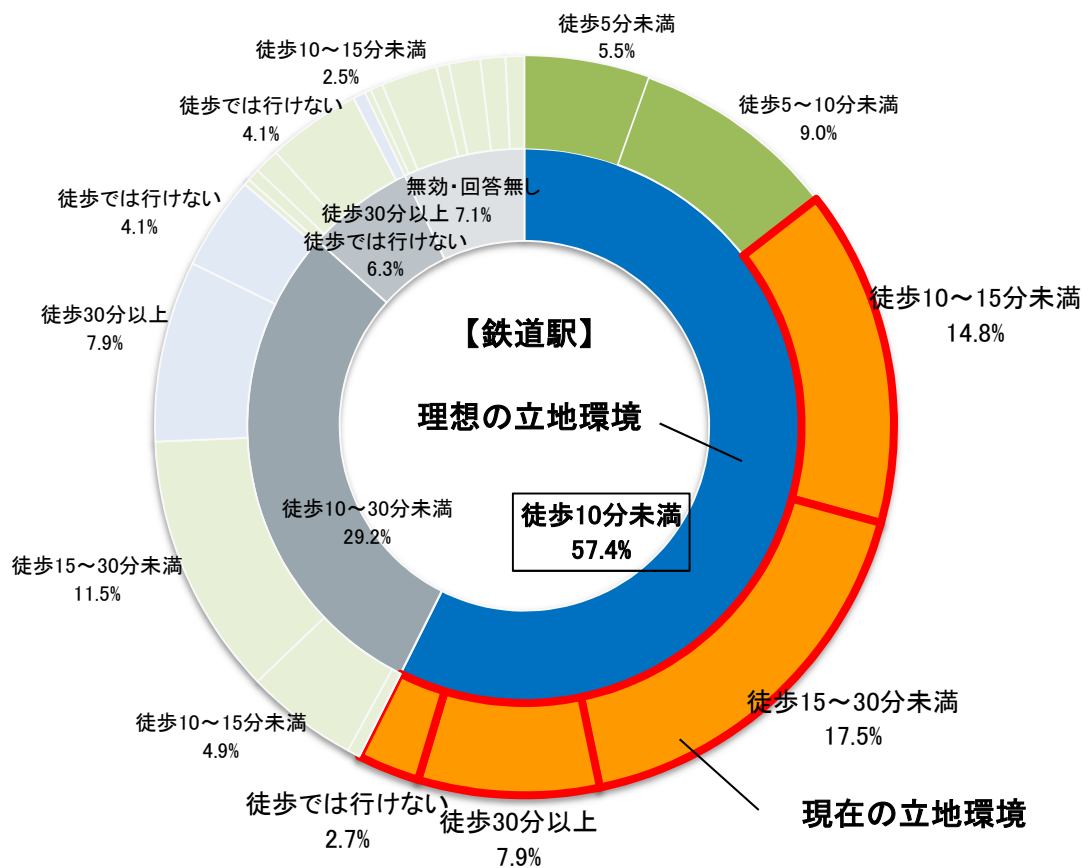


図 鉄道駅までの所要時間（理想の立地環境回答者の現況の立地環境）



②バス停留所

【解説】

バス停留所からの「現在の立地環境」と「理想と考える立地環境」を比較すると、「1. 徒歩 5 分未満」はそれぞれ 5 割前後、「2. 徒歩 5～10 分未満」は 3 割前後となっているため、徒歩 10 分未満にお住まいの方は自らが住んでいる環境を理想の立地環境としている。

【方向性】

a) 郊外部

- ・西美唄、落合地区は長期的にバス停留所周辺への住み替え・移転したい傾向の高い地区であり、短期的にはバスの停留所の増設など公共交通を確保していく地区である。

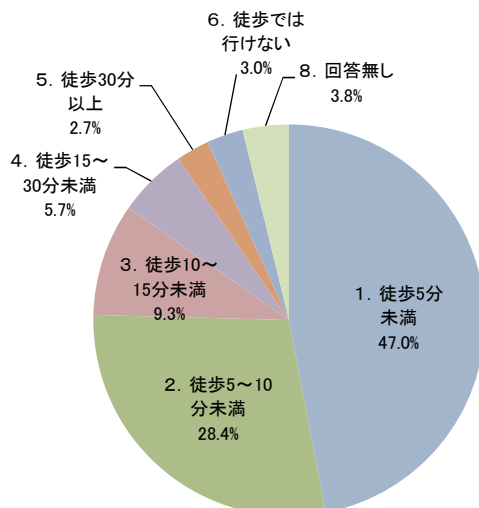
b) 市街地

- ・ほぼ満足との結果である。

表 バス停留所までの所要時間

項 目	回答数	
	現在の立地環境	理想と考える立地環境
1. 徒歩 5 分未満	172	193
2. 徒歩 5～10 分未満	104	113
3. 徒歩 10～15 分未満	34	15
4. 徒歩 15～30 分未満	21	8
5. 徒歩 30 分以上	10	1
6. 徒歩では行けない	11	12
7. 無効	0	0
8. 回答無し	14	24
合 計	366	366

現在の立地環境



理想と考える立地環境

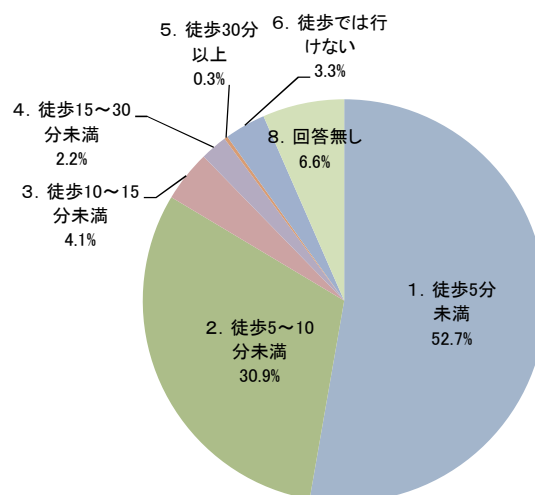
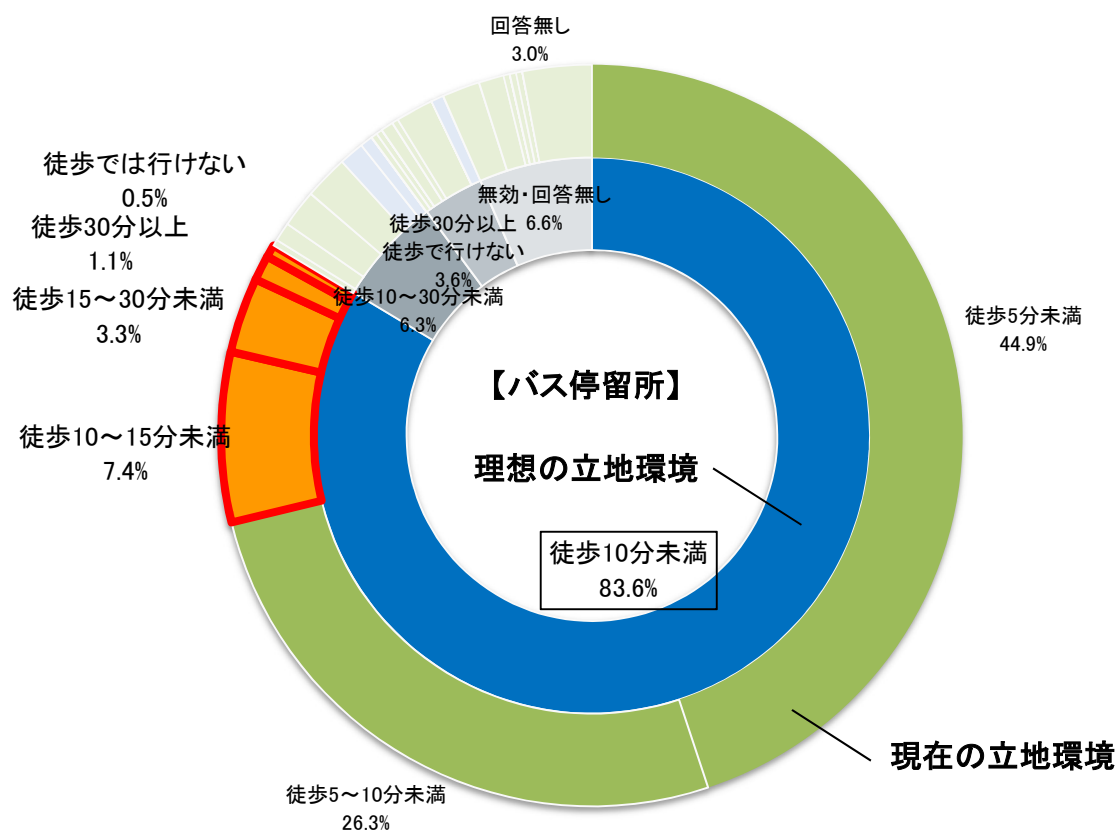


図 バス停留所までの所要時間（理想の立地環境回答者の現況の立地環境）



問6 住んでいる場所の利便性（現状及び将来）についてお聞きます。
ご自宅と各施設の移動手段について、「現在の環境」と「今後の希望」をお答えください。
（①～⑨の施設ごとにそれぞれ○）

①全体

【解説】

どの施設も「徒歩・自転車で行ける」が現状よりも10ポイント以上高い。また、「公共交通で行ける」も一様に現状よりも希望の方が高い。一方、「自家用車」はいずれも10ポイント以上希望の方が低い。

②徒歩・自転車で行ける（都市機能誘導区域等）

【解説】

徒歩・自転車で行ける施設は、「現在の環境」が「⑨小規模集会施設」と「④学校教育施設」が4割弱と高く、続いて「①医療施設」の順となっている。これに対し「今後の希望」は、「⑨小規模集会施設」、「⑤商業施設」及び「④学校教育施設」が5割前後となっている。

「現在の環境」と「今後の希望」を比較して今後徒歩・自転車で行けることが望まれている施設は、「商業施設（20ポイント強高）」と「医療施設（20ポイント弱高）」が多く、続いて、「介護福祉施設（20ポイント弱高）」となっている。

【方向性】

- ・「徒歩・自転車で行ける」施設のうち、現在と今後の希望との差が大きい施設は、医療、介護福祉、子育て支援、商業施設、行政サービス及び文化交流の各施設であり、これらは都市機能誘導区域内に集約されるべき施設（誘導施設）と考えられる。

③公共交通で行ける

【解説】

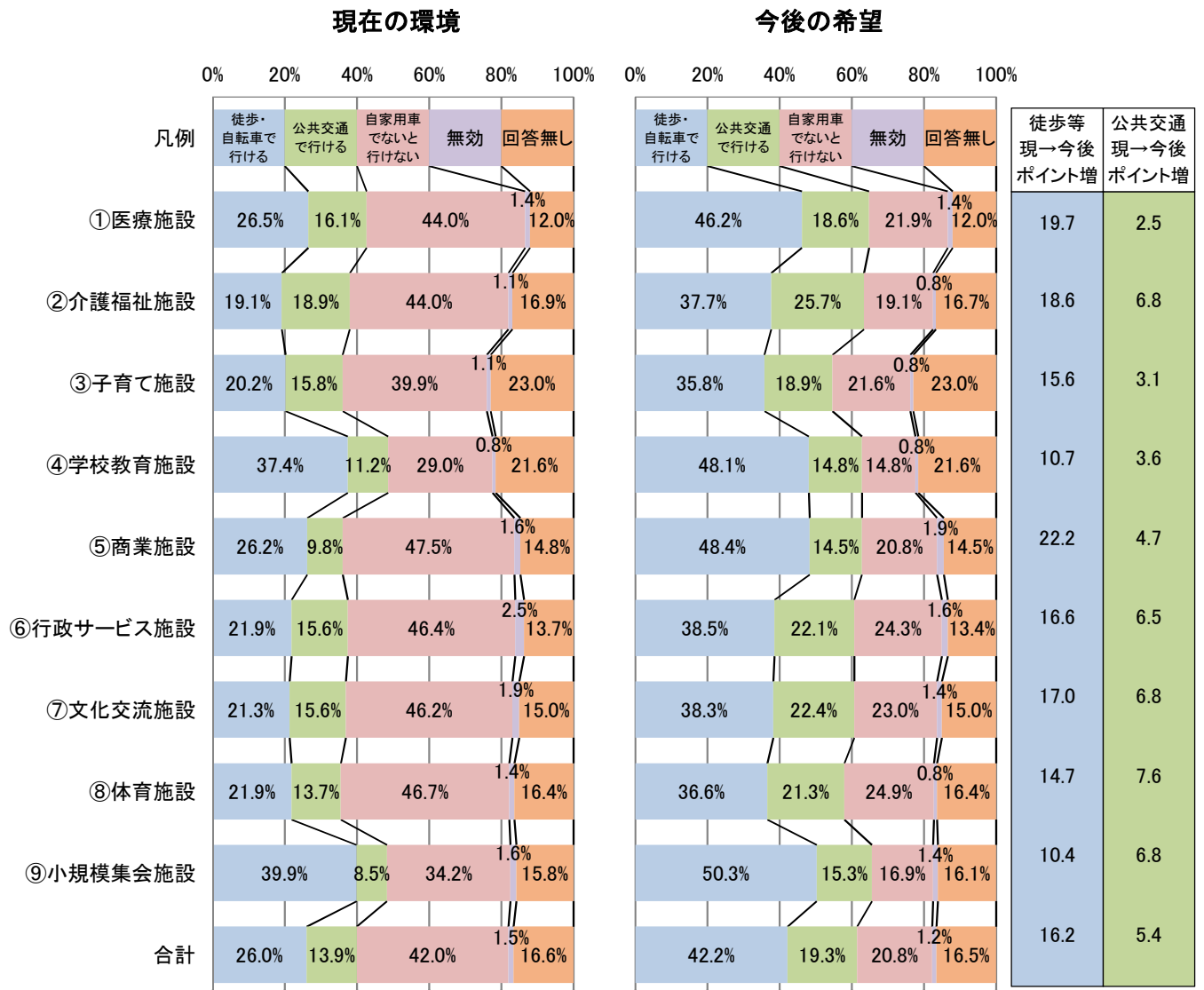
公共交通で行ける施設は、「現在の環境」が「②介護福祉施設」、「①医療施設」及び「③子育て施設」が上位3施設であるが全て1割台となっている。これに対し「今後の希望」は、「②介護福祉施設」、「⑦文化交流施設」及び「⑥行政サービスしている」が上位3施設であるが全て2割強から3割弱となっている。

「現在の環境」と「今後の希望」を比較して今後公共交通で行けることが望まれている施設は、「⑧体育施設」、「②介護福祉施設」、「⑦文化交流施設」、「⑨小規模集会施設」となっているが、いずれも10ポイント程度ずつ高くなっている。

【方向性】

- ・「公共交通で行ける」施設のうち、現在と今後の希望との差が大きい施設は、介護、行政サービス、文化交流、体育館、小規模集会場などの各施設であり、この内、前述の誘導施設（介護、行政サービス、文化交流施設）を除いた体育施設及び小規模集会施設が居住誘導区域内に集約されるべき施設となる。

図 自宅と各施設の移動手段についての「現在の環境」と「今後の希望」



問7 もし現在のお住まいから住み替えるとしたら、どのような環境に住みたいでしょうか。

【解説】

「5. 住み替える意向なし」が 5 割強と最も多いものの、3 割強の方は「1. 中心部やその周辺部」へ住み替えを望んでいる。

【方向性】

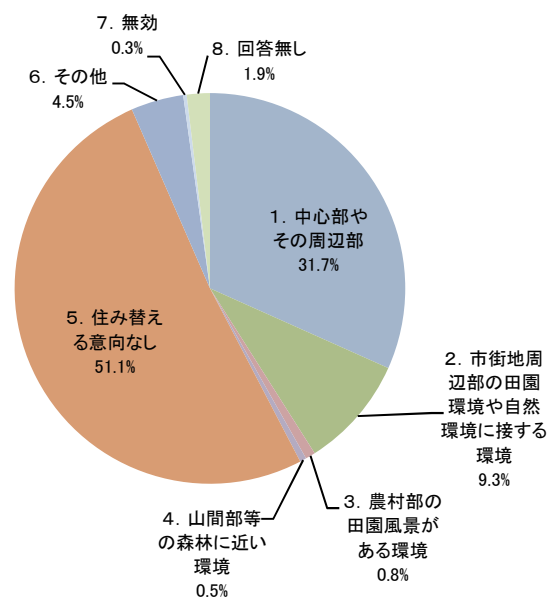
- ・郊外に居住する方の「1. 中心部やその周辺部」への住み替え希望について、現在人口に換算すると約 2,000 人が該当する。

表 住み替えた場合の環境

項 目	回答数
1. 中心部やその周辺部	116
2. 市街地周辺部の田園環境や自然環境に接する環境	34
3. 農村部の田園風景がある環境	3
4. 山間部等の森林に近い環境	2
5. 住み替える意向なし	187
6. その他（自由記述）	16
7. 無効	1
8. 回答無し	7
合 計	366

6. その他（自由記述）

- ・他市町村（札幌、岩見沢など）：8 件
- ・今の場所のままで良い：3 件
- ・医療施設に近く、できれば徒歩で行ける地域：2 件
- ・商業施設の近く
- ・市営住宅一道営住宅
- ・JR 駅のそば



問8 もし中心部やその周辺部に住むとしたら、その条件をお答えください。

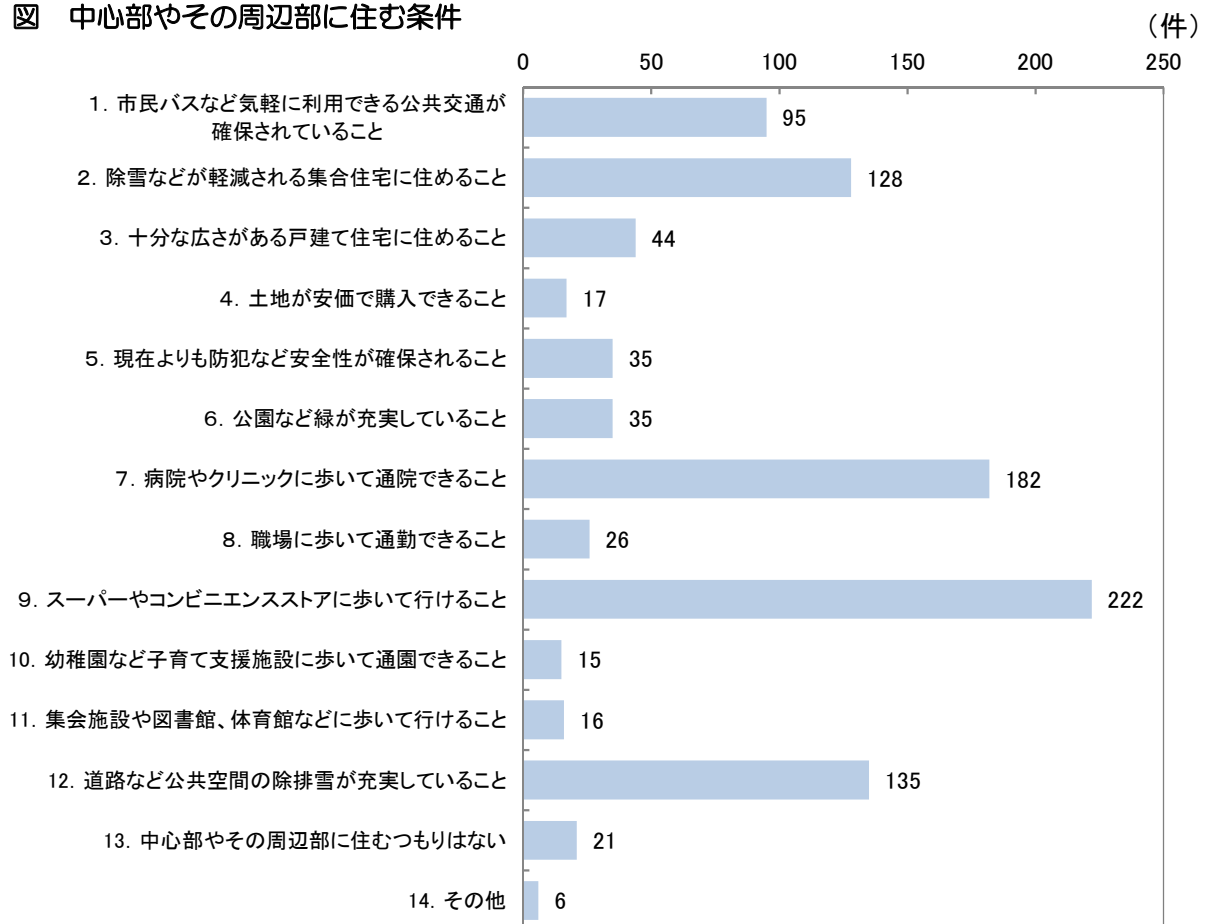
【解説】

中心部やその周辺部に住む条件は、「9. スーパーやコンビニエンスストアに歩いて行けること」が222件（6割強）と最も多く、続いて「7. 病院やクリニックに歩いて通院できること」が182件（5割弱）、「12. 道路など公共空間の除排雪が充実していること」が135件（4割弱）、「2. 除雪などが軽減される集合住宅に住めること」が128件（4割弱）及び「1. 市民バスなど気軽に利用できる公共交通が確保されていること」が95件（3割弱）の順となっている。

【方向性】

- 中心部やその周辺部に住む条件として、「スーパーやコンビニエンスストアに歩いていけること」、「病院やクリニックに歩いて通院できること」、「道路などの公共空間の除排雪が充実していること」、「除雪などが軽減される集合住宅に住めること」、「市民バスなどが気軽に利用できる公共交通が確保されていること」、といった要望の高い条件を満たすことにより、居住誘導の可能性を高めていくことができる。

図 中心部やその周辺部に住む条件



14. その他（自由記述）

- 今のままでいい
- 子供たちが通学しやすいこと（JRを利用して市外へ通うことを想定）
- 子供が歩いて学校に通学できること

問9 もし中心部やその周辺に住み替えるとしたら、どのような住宅に住みたいですか。

【解説】

中心部やその周辺部に住む場合の住宅の種類は、「1. 持ち家（戸建住宅）」が4割強と最も多く、続いて「4. 公営住宅などの集合住宅」が3割となっている。

【方向性】

- ・ 郊外に居住し、かつ本設問で住宅の種類を選んだ住み替え意向のある回答者数を、現在人口に換算すると約5,700人が該当する。これは居住誘導区域への住み替えの対象となる人口規模の目安となる。
- ・ その内訳は、「持ち家（戸建住宅）」が約3,000人、「公営住宅（集合住宅）」が2,300人及び「その他※」が約400人となっている。
- ・ 市街地に居住し、かつ本設問で住宅の種類を選んだ回答者数を、現在人口に換算すると約13,500人が該当する。
- ・ その内訳は、「持ち家（戸建住宅）」が約6,500人、「公営住宅（集合住宅）」が5,000人及び「その他※」が約2,000人となっている。
- ・ 中心部やその周辺部の「持ち家」に住みたい方は、市街地と郊外部を合計すると約9,500人（現在人口換算）となり、全人口の4割に該当する。
- ・ 問10での質問の内、「住宅購入費に対する支援」を求めている回答が比較的高い結果となったことを踏まえると、今後、居住誘導区域内への住み替えを更に促すとともに、現在中心部に居住している市民の市外などへの流出防止策として、「住宅購入費に対する支援」を実施する必要があると考えられる。
- ・ 中心部やその周辺部の「公営住宅（集合住宅）」に住みたい方は、市街地と郊外部を合計すると約7,300人（現在人口換算）となり、全人口の3割に該当し、これについても比較的高い結果となっていることから、まちの中心部に公営住宅を配置していく必要がある。

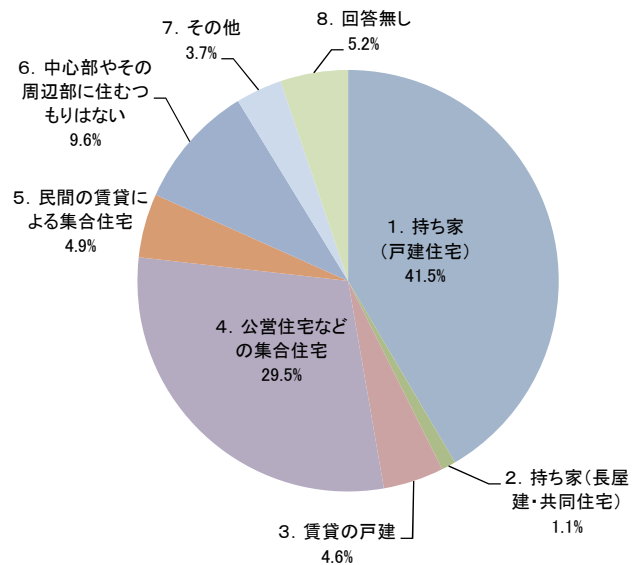
※：持ち家（長屋建・共同住宅）、賃貸の戸建、民間賃貸住宅（集合住宅）

図 中心部やその周辺部に住む場合の住宅の種類

項 目	回答数
1. 持ち家（戸建住宅）	152
2. 持ち家（長屋建・共同住宅）	4
3. 賃貸の戸建	17
4. 公営住宅などの集合住宅	108
5. 民間の賃貸による集合住宅	18
6. 中心部やその周辺部に住むつもりはない	35
7. その他（自由記述）	13
8. 回答無し	19
合 計	366

7. その他（自由記述）

- ・施設：3 件
- ・ペット可の賃貸住宅：2 件
- ・サービス付き高齢者住宅：2 件
- ・意向無し：2 件
- ・持ち家で居住している
- ・知り合い間借り
- ・記述なし：1 件



問 10 もし現在の場所から住み替えるとしたら、どのような支援があると良いと思いますか。(二つ以内に○)

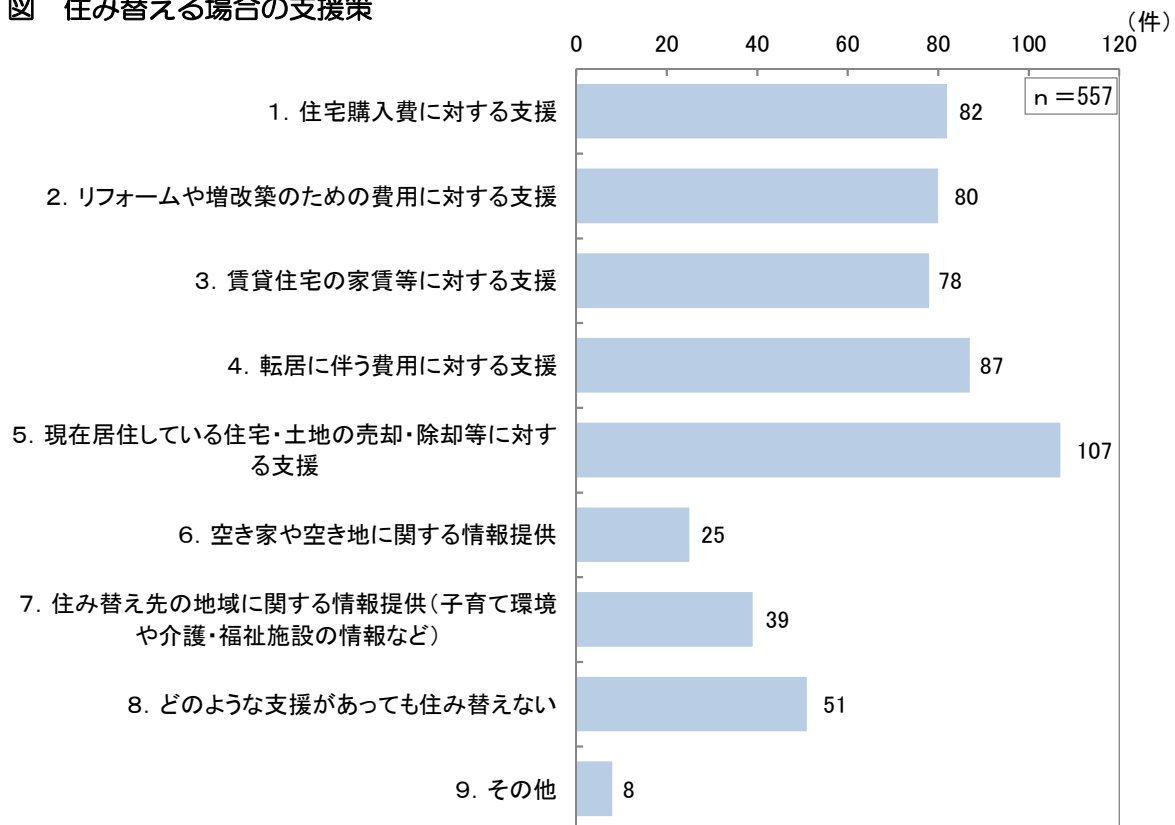
【解説】

住み替える場合の支援策は、「5. 現在居住している住宅・土地の売却・除却等に対する支援」が107件(3割)と最も多く、続いて「4. 転居に伴う費用に対する支援」が87件(3割弱)、「1. 住宅購入に対する支援」が82件(2割強)、「2. リフォームや増改築のための費用に対する支援」が80件(2割強)及び「3. 賃貸住宅の家賃等に対する支援」が78件(2割強)となっている。

【方向性】

- ・中心部やその周辺部への住み替えには、住んでいた家の処分、転居、住宅の購入、取得した中古住宅の増改築、賃貸住宅への家賃補助といった一連の総合的な支援が求められている。
- ・現在居住している住宅・土地の売却・除却等に対する支援、転居に伴う費用に対する支援、住宅購入に対する支援、リフォームや増改築のための費用に対する支援及び賃貸住宅の家賃等に対する支援について検討し、誘導区域外への流出の防止と中心部やその周辺への住み替えを促進していく。

図 住み替える場合の支援策



9. その他(自由記述)

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| ・他の都市に行く(住み心地の良い場所へ): 2件 | ・わからない。 |
| ・税に対しての支援。 | ・グループホームで24時間支援員が付き添う。1人に対して1人。 |
| ・持ち家住み替えなし | |
| ・強制でなければ支援する必要無し。 | |

3. 生活交通についてお尋ねします。

問 11 外出する際の目的別に、最もよく使う移動手段をお答えください。
※1回の移動で複数手段を利用する場合は重複して選んで構いません。

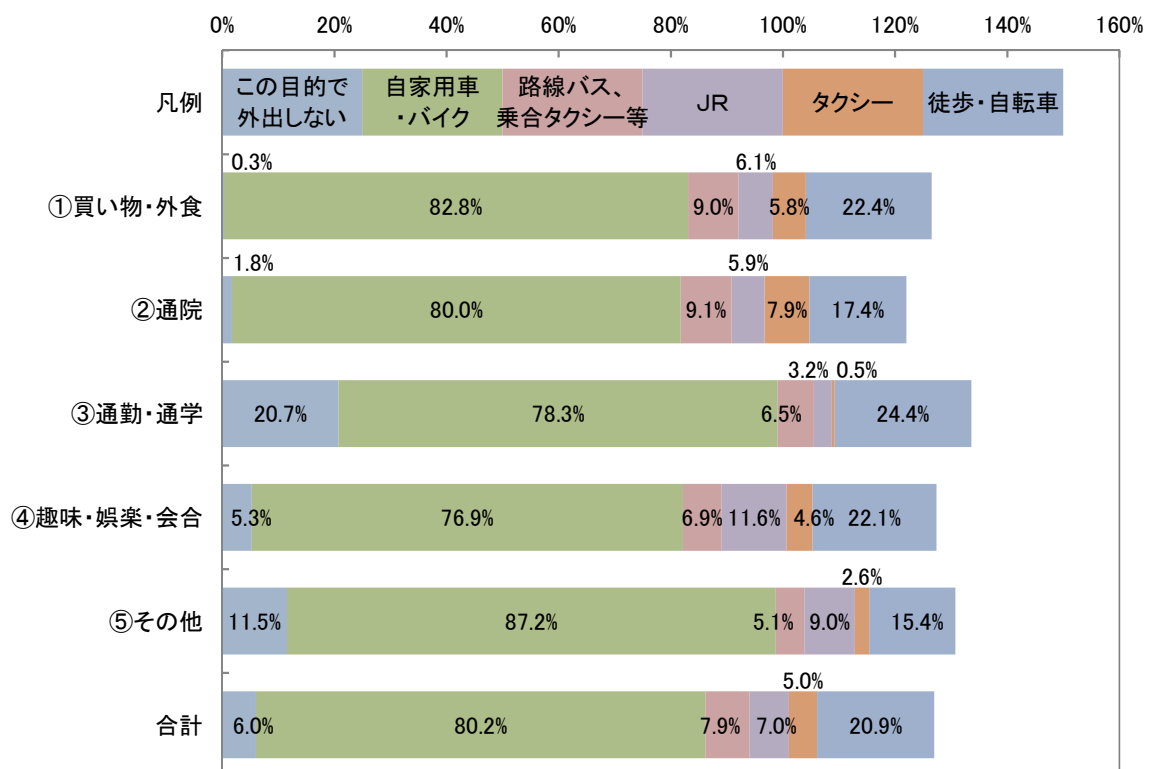
【解説】

全体（合計）の交通手段は「自家用車、バイク」が8割と最も多く、続いて「徒歩、自転車」が2割強となっている。これを外出目的別に見ると、「自家用車、バイク」は全ての目的において8割前後、「徒歩、自転車」は「①買物・外出」、「③通勤・通学」及び「④趣味・娯楽・会合」で2割台となっている。

【方向性】

- ・外出目的別の移動手段についての質問であるが、全ての目的において、自家用車・バイクの使用が8割前後であり、徒歩・自転車については、全体において、ほぼ2割程度となっている。このことから、今後、徒歩・自転車の利用率を上げる取り組みが必要と考えられる。（※美唄市コンパクトシティ構想を踏まえ、歩道の確保、段差解消などのバリアフリー化の実施等）

図 外出目的別の移動手段



⑤その他（自由記述）

- | | |
|--------|---------|
| ・帰省：2件 | ・趣味の農作業 |
| ・市外 | ・姉妹訪問 |

問 12 車の保有状況をお答えください。(一つに○)

【解説】

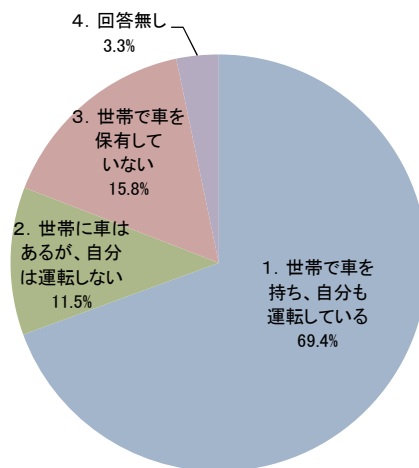
車の保有状況は、「1. 世帯で車を持ち、自分も運転している」が 7 割と最も多く、続いて「3. 世帯で車を保有していない」が 2 割弱、「2. 世帯に車はあるが、自分は運転しない」が 1 割強の順となっている。「2.」「3.」の車を運転しない方、車を保有していない方が全体の 3 割弱となっている。

【方向性】

- ・自ら車を運転しない方や車を保有していない方の生活交通を確保する公共交通が必要である。
- ・自動車の保有率が、現時点で約 7 割であるとの結果を基に、今後、立地適正化計画に基づいて、都市のコンパクト化を目指す過程で、カーシェアリングなど自動車の保有率を減少させる取組みを進めていく。

表 車の保有状況

項 目	回答数
1. 世帯で車を持ち、自分も運転している	244
2. 世帯に車はあるが、自分は運転しない	42
3. 世帯で車を保有していない	58
4. 回答無し	12
合 計	366



問 13 自動車運転免許の返納を考えていますか。(一つに○)

【解説】

自動車運転免許証の返納については、「5. 検討していない・まだ返納を考える年齢ではない」が 5 割強と最も多く、続いて「1. 運転しない・運転免許を持っていない」と「4. 具体的ではないが検討している」が 2 割弱となっている。

なお、全体の 1 割弱の方が「3. 具体的に検討している」としており、検討している方が具体的に返納する年齢階級の内訳は「4. 80～84 歳」が 5 割強、「2. 70～74 歳」と「3. 75～79 歳」が 2 割弱となっている。

【方向性】

- ・運転免許の返納については、70 歳以上での意向が高い結果となっている。郊外においては、これまでの設問から更なる公共交通の充実が必要との結論であるものの、こうした高齢者が中心部に移住してくる可能性も高いと判断できる。今後、設問の 3・4 と併せて考慮した移住希望の人数を特定していく。

表 自動車運転免許の返納予定

項 目	回答数
1. 運転しない・運転免許を持っていない	66
2. 返納した	6
3. 具体的に検討している (歳ごろに返納)	23
4. 具体的ではないが検討している	59
5. 検討していない・まだ返納を考える年齢ではない	194
6. 回答無し	18
合 計	366

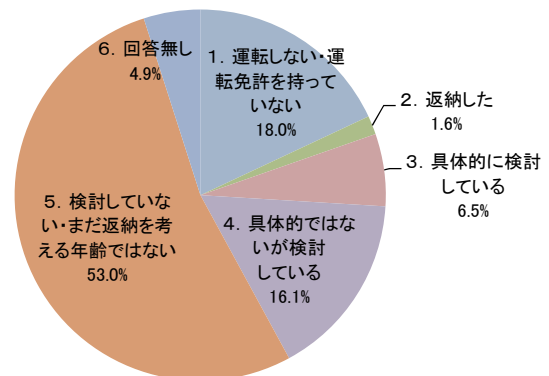
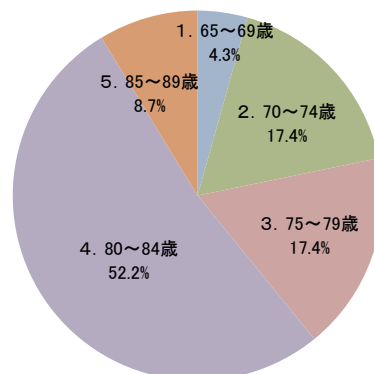


表 運転免許証返納年齢階級

項 目	回答数
1. 65～69 歳	1
2. 70～74 歳	4
3. 75～79 歳	4
4. 80～84 歳	12
5. 85～89 歳	2
合 計	23



問 14 将来（10 年後ぐらい）、外出に不安はありますか。また、不安を解消していくために最も充実すべき公共交通手段をお選びください。（それぞれ一つに○）

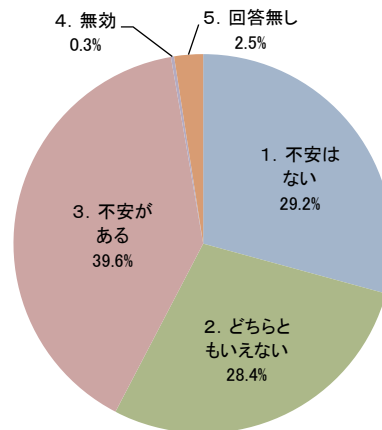
①将来、外出に不安はありますか

【解説】

将来の外出の不安は、「3. 不安がある」が4割と最も多く、「1. 不安はない」と「2. どちらともいえない」がともに3割弱となっている。

表 将来的な外出の不安

項 目	回答数
1. 不安はない	107
2. どちらともいえない	104
3. 不安がある	145
4. 回答無し	9
5. 無効	1
合 計	366



②最も充実すべき公共交通はどれですか

【解説】

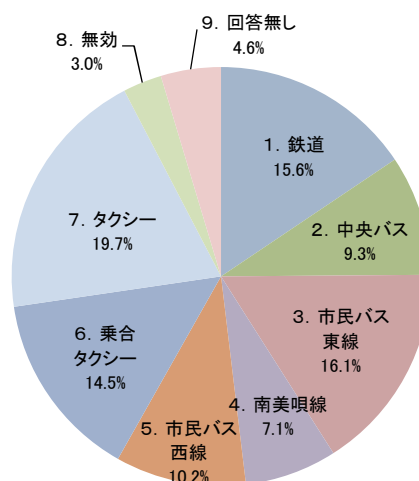
最も充実すべき公共交通は、「7. タクシー」が2割と最も多く、続いて「3. 市民バス東線」と「1. 鉄道」が2割弱となっているが、突出した交通手段は特にない。

【方向性】

- ・外出への不安について、約4割との結果である。これを受け、最も充実させるべき公共交通は、タクシー及び市民バス東線である。地区別で見ると、東北地区及び東南地区で、将来の外出に不安との回答が他の地区よりも多く、これと連動する結果となっている。

表 最も充実すべき公共交通

項 目	回答数
1. 鉄道	57
2. 中央バス	34
3. 市民バス東線	59
4. 南美唄線	26
5. 市民バス西線 (スクールバス混乗を含む)	37
6. 乗合タクシー	53
7. タクシー	72
8. 回答無し	17
9. 無効	11
合 計	366



③「②」で「鉄道」と「バス」をお答えの方にお聞きます。最も充実すべき内容はどれですか

【解説】

「鉄道」と「バス」について最も充実すべき内容は、「1. 増便」が4割と最も多く、続いて「6. 時刻表や公共交通の乗り方がわかるパンフレット等を配布する」が2割となっているものの、2割弱の方が「8. 回答無」となっている。

表 最も充実すべき内容（鉄道・バス）

項 目	回答数
1. 増便	87
2. 始発便の時刻を早くする	5
3. 最終便の時刻を遅くする	10
4. バス路線を拡大する (具体的な地域の名称：自由記述)	10
5. バス停留所を増やす (住所・最寄りの施設等：自由記述)	11
6. 時刻表や公共交通の乗り方が わかるパンフレットを配布する	42
7. その他（自由記述）	9
8. 回答無し	35
9. 無効	4
合 計	213

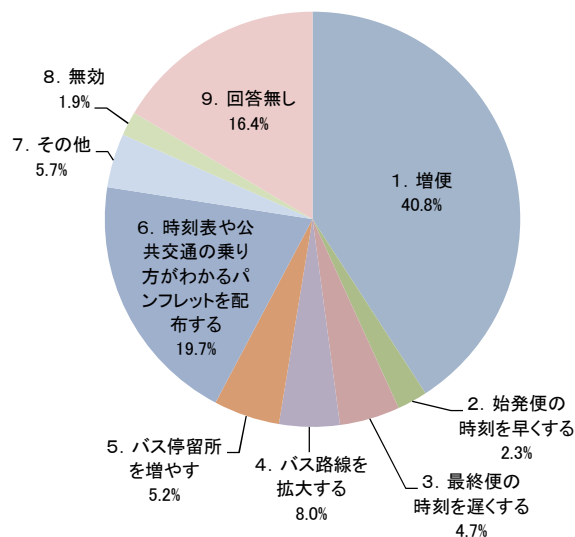
4. バス路線を拡大する

(具体的な地域の名称：自由記述)

- ・ 高速バスの復活（札幌）：2 件
- ・ 中村町
- ・ 西 4 条北 4 丁目
- ・ 記述なし：3 件

7. その他（自由記述）

- ・ 札幌までの高速バス
- ・ 4 キップがまた始まってほしい。
- ・ 交通費削減
- ・ 今までどおり。
- ・ 札幌→美唄間が不便です。
岩見沢で止まるため。



4. 将来のまちづくりについてお尋ねします。

問 15 今後、まちの中心部をより便利にして住みやすくしていくためには、どのような施設の集積や整備を行うべきかお答えください。(三つ以内に○)

【解説】

まちの中心部をより便利にして住みやすくしていくためには、「2. 医療施設」が 194 (6 割弱) と最も多く、続いて「9. 商業施設」が 150 件 (4 割強)、「7. 高齢者住宅 (サービス付き高齢者住宅)」が 101 件 (3 割)、「6. 介護福祉施設 (特別養護老人ホーム)」が 86 件 (2 割強) の順となっている。

【方向性】

- ・まちの中心部の利便性の向上のための施設に医療、商業、高齢者住宅、介護福祉施設の整備が求められている。
- ・設問8と併せると医療施設については、双方で必要性が求められている。
- ・よって医療施設の適正な配置に努めていかなければならないとの結果である。
- ・この他はスーパー、コンビニについても同様である。

表 中心部をより便利に住みやすくする方策

項 目	回答数		(件)
1. 住宅	45	1. 住宅	45
2. 医療施設	194	2. 医療施設	194
3. 子育て施設	37	3. 子育て施設	37
4. 学校教育施設	30	4. 学校教育施設	30
5. 文化交流施設	25	5. 文化交流施設	25
6. 介護福祉施設 (特別養護老人ホームなど)	86	6. 介護福祉施設	86
7. 高齢者住宅 (サービス付き高齢者住宅など)	101	7. 高齢者住宅	101
8. 障がい者支援施設	25	8. 障がい者支援施設	25
9. 商業施設	150	9. 商業施設	150
10. 行政サービス施設	42	10. 行政サービス施設	42
11. 体育施設	10	11. 体育施設	10
12. 集会施設	7	12. 集会施設	7
13. 道路 (車道)	40	13. 道路 (車道)	40
14. 道路 (歩道)	58	14. 道路 (歩道)	58
15. 公園・緑地	38	15. 公園・緑地	38
16. 案内板	3	16. 案内板	3
17. その他 (自由記述)	13	17. その他	13
合 計	904		

17. その他 (自由記述)

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・店：2 件 ・道路及び住宅間口の除排雪：2 件 ・特になし：2 件 ・公衆トイレ ・市役所をもっと中心部に移転。 ・市営高齢者住宅 | <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場 ・美唄市は福祉都市を名乗っています。低所得者の生活を充実できる福祉都市を計画する事です。 ・過疎地域に家庭菜園など可能な土地付集合住宅の建設を求む。 |
|---|---|

問 16 中心部に施設を立地していく場合、その方法についてあなたの考え方に近いものをお選びください。(それぞれ一つに○)

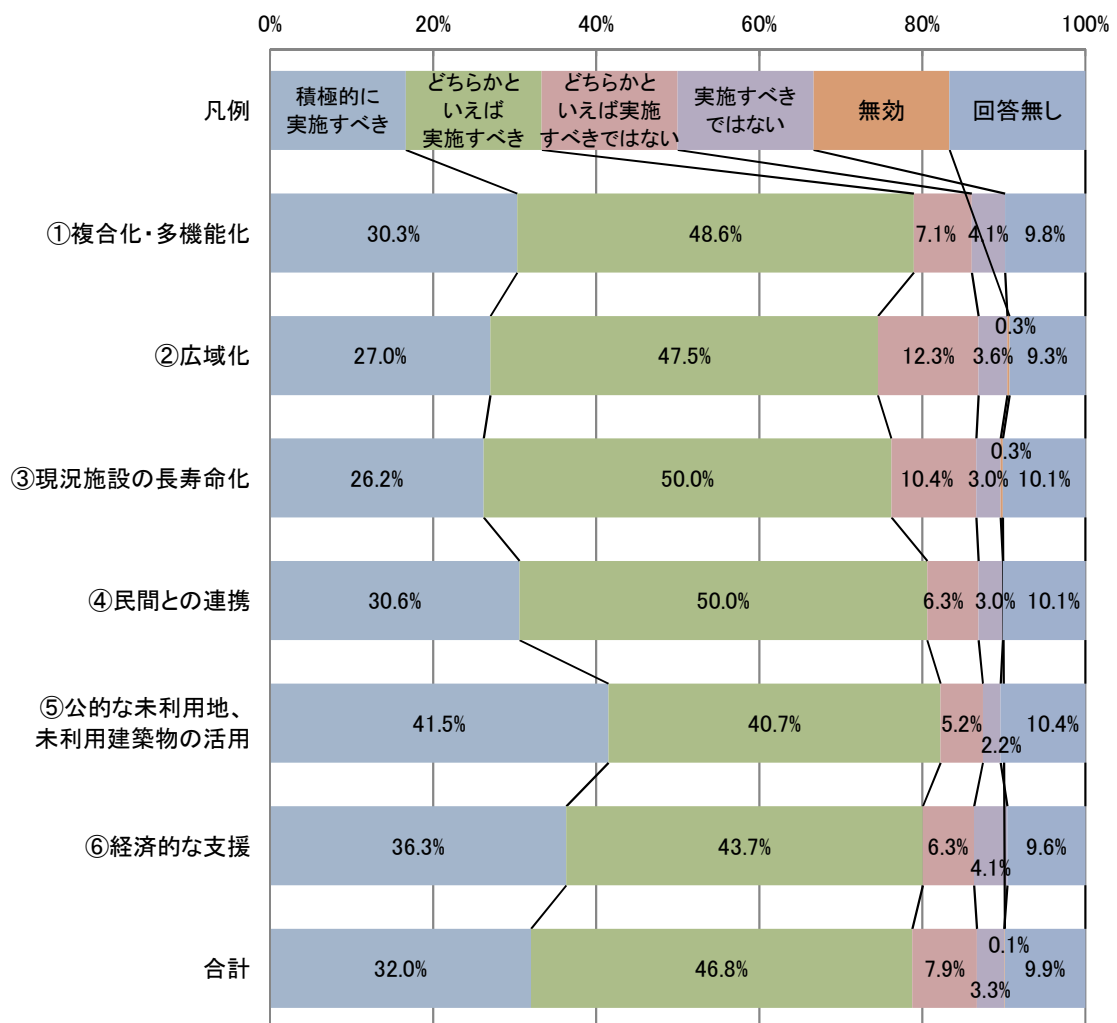
【解説】

全ての方法について「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を合計すると8割前後となっている。

【方向性】

- ・ 中心部への施設立地にあたっては美唄市コンパクトシティ構想に基づき、状況に応じて様々な手法により施設整備を実施していく。

図 中心部へ施設を立地していく場合の方法



問 17 現在のまちの中心部イメージについて、どのように感じますか。(一つに○)

①良い所を活かす

【解説】

現在のまちの中心部のイメージとして「感じる」「少し感じる」と回答されて事項は、「④駅前が広く快適である」が最も多く、続いて「⑪公園や街路樹などにより、緑が充実している」、「③道路が整備されて自動車で行きやすい」の順となっている。

【方向性】

- ・ 広々とした駅前及び公園や街路樹などにより緑が充実しているなどを活かしたまちづくりが必要である。

②悪い所を改善する

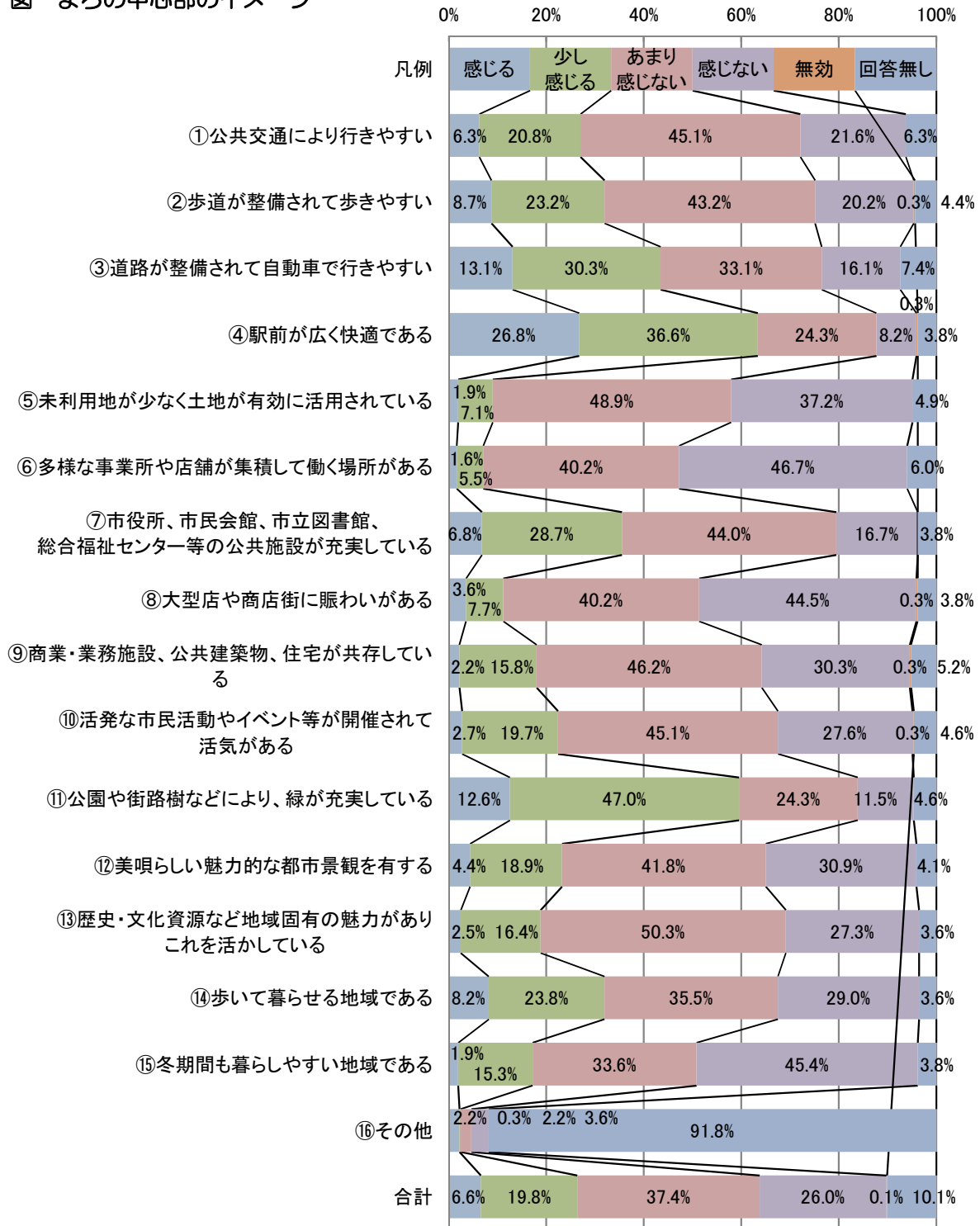
【解説】

現在のまちの中心部のイメージとして「感じない」「あまり感じない」事項は、「⑥多様な事務所や店舗が集積して働く場所がある」が最も多く、続いて「⑤未利用地が少なく土地が有効に活用されている」、「⑧大型店や商店街に賑わいがある」の順となっている。

【方向性】

- ・ 多様な事務所や店舗の集積や未利用地の活用、大型店、商店街の賑わいづくりが求められている。
- ・ 美唄市コンパクトシティ構想に基づき、改正中心市街地活性化法に基づく基本計画の策定が必要である。

図 まちの中心部のイメージ



⑯その他（自由記述）

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・車道等整備されている：3件 ・地域の街灯が暗い：2件 ・道路及び住宅間口の除排雪：2件 ・教育施設が充実している地域 ・自転車の利用しやすさ ・マチ中の賑わい ・自転車の盗難 ・呼び物にできる物が何もない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の安全性 ・介護福祉施設 ・老人が多くて、子どもが少ない。 ・シャッターが閉まっている商店が多い。 ・高齢者が歩いて目的の場所に行くには遠くて大変。 ・美唄に住んで美唄を知ってアンケートを作ってください。 ・特になし |
|---|--|

問 18 今後、まちの中心部を整えていくにあたって、問17の①～⑯から重要なものを3つお選びください。(問17の①～⑯から3つ選んで番号を記入)

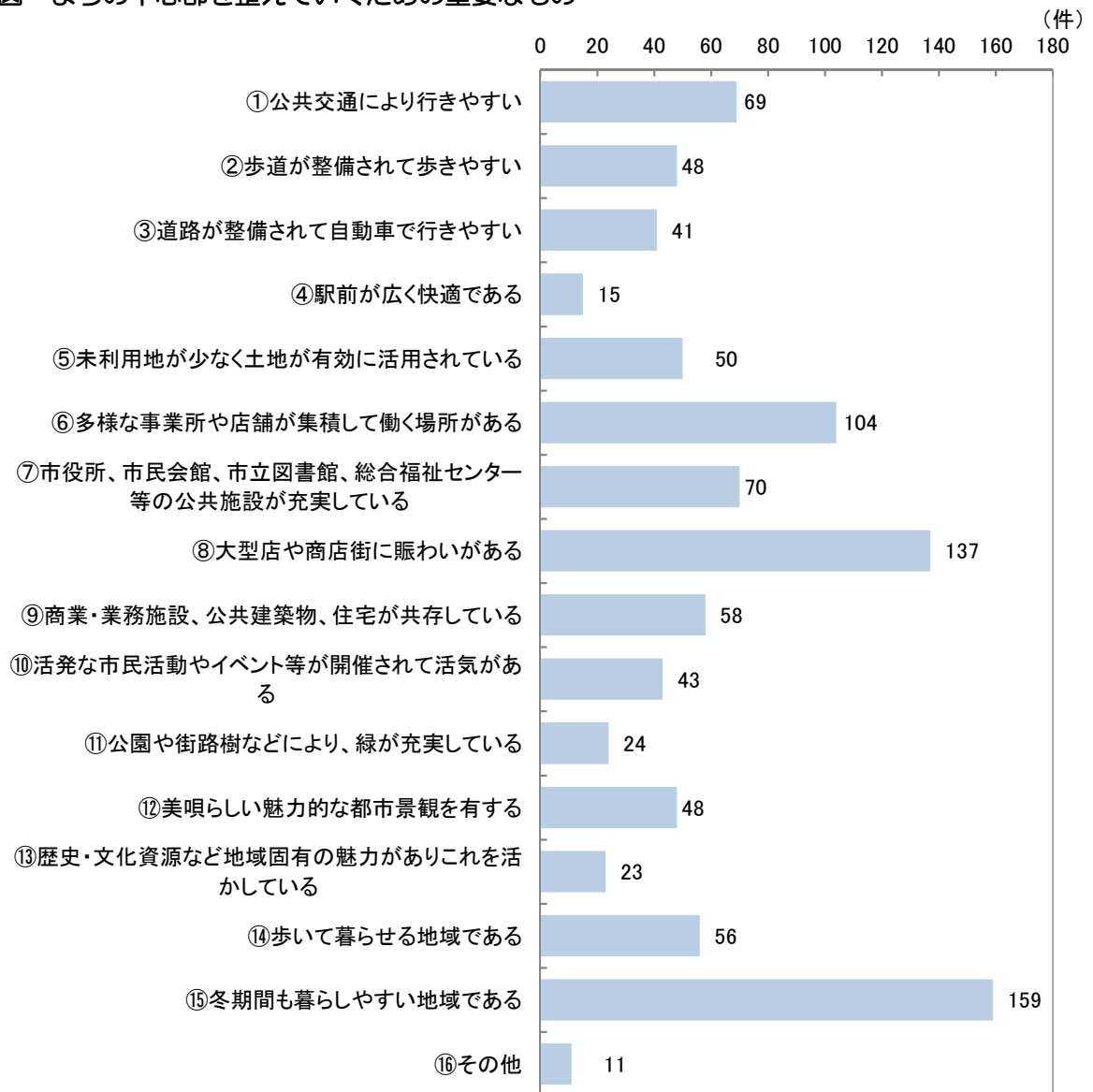
【解説】

今後、まちの中心部を整えていくための重要なものは、「⑯冬でも暮らしやすい地域である」が159件（5割弱）と最も多く、続いて「⑧大型店や商店街に賑わいがある」が137件（4割強）、「⑥多様な事務所や店舗が集積して働く場所がある」が104件（3割強）、「⑦市役所、市民会館、市立図書館、総合福祉センター等の公共施設が充実している」が70件（2割強）及び「①公共交通により行きやすい」が69件（2割強）の順となっている。

【方向性】

- 中心部を整えていくためには、多様な事務所や店舗が集積して働く場所があって、大型店や商店街に賑わいがあり、冬期間も暮らしやすい地域であること。また市役所、市民会館、市立図書館、総合福祉センター等の公共施設が充実していることを求める結果となっている。
- ここでも、商店街の賑わいを求める意見などが多いため、改正中心市街地活性化法に基づく基本計画の策定が必要と判断できる。また、市役所などの充実を求める意見が多いことを踏まえ、公共施設の複合化による利便性の向上を考えていく。

図 まちの中心部を整えていくための重要なもの



⑯その他（自由記述）

- ・市道の整備／市立病院建設の見直し（規模など）／子供・老人・障害者が一体となった地域づくり／安心して生活できて働ける場所の確保、また、支援（現在不足している就労事業所への積極的な支援が必要）

問19 その他、「コンパクトなまちづくり」や「公共交通」などについて、ご意見がありましたら、ご記入ください。

○コンパクトなまちづくりが必要

- ・コンパクトシティは効率的だと思う。新居を買い求める人達にとっては有益な取り組みだと思う。年を取って動けない時はコンパクトシティが便利だと思う。

○中心部への住み替え促進

- ・住みなれた土地を離れて、移住させることは非常に難しい問題であるが、移住者のメリットを説明して納得させることが必要。時間がかかるので、早期から説明を行い理解を得ること。
- ・まちの中心部に居住して、賑わいを創出する為、茶志内地区とか日東地区の住民を移住するような施策を考え、冬場の除雪の軽減など公共経費を減らしてみてもいいでしょうか。
- ・今後は人口減少のため居住エリアの集約化は避けられないと思う。しかしながら居住の自由があるため強制はできない。住民サービスの限界を説明し誘導する事は必要。
- ・人口が減っているので中心部に集めるのは必要なことだと思う。

○中心部への高齢者住宅と医療・福祉施設の集積

- ・この先、年齢と共に現在生活している場所では通院、買い物などが難しくなる。街の中心部に高齢者が安心して住める施設の充実を希望する。医療施設と介護福祉施設や高齢者住宅などを集積したまち作りを望む。

○中心部へ住み替えることにより中心商店街の購買力を高める

- ・東明地区以東や、日東・茶志内・沼の内・開発・光珠内などの地域は、まちなかへ移動してもらうなど（移転費用を助成してでも）して、集積することにより、中心商店街に対する購買力アップが期待でき、かつ行政サービス等のコスト削減が見込まれ、これによって資源を他の需要へ振り向けられる。

○商業施設による賑わい創出

- ・駅直結のイオンモールのような商業施設があれば市外からも人が集まるかもしれません。
- ・商店街が賑わう事が一番ですね。イベントも沢山有ると良いです。

○公共施設の集約配置

- ・行政機関、福祉施設が散らばっていて行きづらい状況である。
- ・街の顔である中心市街地の活性化に向けて、全力で公的施設の移設も含めて取り組む必要があると感じています。
- ・コンパクトなまちづくりを目指されているのでしたら、公共施設が点々とあるのを変えるべきではないかと思います。
- ・築年数が古い公共施設が多く、コンパクトなまちづくりを計画していく上で、施設の統廃合を進めていき、これから40年、50年と使用出来る施設を建設した方が良いように思います。

○冬の生活に配慮した集合住宅の確保

- ・公営住宅、市営住宅の新設を希望しています。高齢化してからの除雪などを考えると不安です。独居の住宅が少ないので増やして欲しいと思います。

○高齢者住宅の集約配置による効率的な介護サービスの提供

- ・高齢者住宅を中心部に作り、サービスも効率的に。住宅はお金をかけず、低家賃で。民間のサ高住に誰でも入れるわけではないのだから。でないと高齢の人も美唄市を出ていかざるを得なくなります。できるだけ美唄に住み続けられるような街づくりをしてほしいです。

○医療施設の充実

- ・医療機関が充実していないので岩見沢によく行き、ついでに岩見沢のお店で買い物することが多い。
- ・一番大切なのは生命だと感じています。なので、医療施設が整っていてほしいと思います。
- ・夢、未来像ではあるが...市立病院、建て替えるなら、一階は色々な商業エリア、二階、診療所、三、四階には老人介護、集合所エリアとか...老人談話でよくでる意見です。

○空地の有効活用

- ・旧美工跡地の有効活用を進めるべきであり、体育センターなど様々な賑わいを創出できる取り組みを進めるべきである。
- ・立地適正化にあたって放置された空き家をなんとかしてもらいたいと思います。
- ・(元)美唄工業校あとに集合団地を集約して空団地を減らす。

○市民バス・美唄自動車学校バス等の増便

- ・市民バスの利用をしやすくする為に、1時間に平均2本ぐらいに増便して欲しい。
- ・中央バス、南美唄バスの増便。
- ・ゆたかニュータウンには市民バスはなく、買い物・病院へ行く時は美自工バスしかありません。1時間に1本でとても不便。こんな大きな団地なのに市民バスが利用できないのは不思議です。
- ・南美唄はとにかくバスの本数が少ない。せめて30分に1本と朝早めの時間で1本走って欲しい。

○バス路線の拡大

- ・バス路線について、市民会館、図書館、総合体育館方面経由のバスもあればいつも思っています。
- ・図書館、プール、体育館にはバス停留所を考慮して欲しい。

(3) アンケート票

■美唄市立地適正化計画等アンケート調査

1. あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 お住まいの地域をお答えください。(一つに○)

1. 西○条南○丁目	2. 西○条北○丁目	3. 東○条北○丁目	4. 東○条南○丁目	
5. 南美唄町	6. 進徳町	7. 一心町	8. 光珠内町	9. 豊葦町
10. 峰延町	11. 沼の内町	12. 開発町	13. 上美唄町	14. 西美唄町
15. 癸巳町	16. 日東町	17. 茶志内町	18. 中村町	19. 北美唄町
20. 共練町	21. 東明町	22. 落合町	23. 盤の沢町	24. 我路町

問2 「性別」と「年齢」をお答えください。(それぞれ一つに○)

1. 男性	1. 18～29 歳	2. 30～39 歳	3. 40～49 歳	4. 50～59 歳
2. 女性	5. 60～69 歳	6. 70 歳以上		

2. あなたのお住まいについてお尋ねします。

問3 お住まいになっている住宅の「種類」をお答えください。(一つに○)

1. 持ち家（戸建住宅）	2. 持ち家（長屋建・共同住宅）	3. 賃貸の戸建
4. 公営住宅などの集合住宅	5. 民間の賃貸による集合住宅	6. その他（ ）

問4 お住まいになっている住宅の「築年数」をお答えください。(一つに○)

1. 10 年未満	2. 10～19 年	3. 20～29 年	4. 30～39 年
5. 40～49 年	6. 50 年以上		

問5 ご自宅から鉄道・バス利用のための移動についてお尋ねします。「現在の立地環境」と「理想と考える立地環境」から鉄道駅やバス停留所（市民バス西線の場合は乗り降りできる場所）までの徒歩での所要時間をお答えください。(それぞれ一つに○)

【鉄道駅までの所要時間】

現在の立地環境	1. 徒歩 5 分未満	2. 徒歩 5～10 分未満	3. 徒歩 10～15 分未満
	4. 徒歩 15～30 分未満	5. 徒歩 30 分以上	6. 徒歩では行けない
理想と考える立地環境	1. 徒歩 5 分未満	2. 徒歩 5～10 分未満	3. 徒歩 10～15 分未満
	4. 徒歩 15～30 分未満	5. 徒歩 30 分以上	6. 徒歩で行けなくていい

【バス停留所等までの所要時間】

現在の立地環境	1. 徒歩 5 分未満	2. 徒歩 5～10 分未満	3. 徒歩 10～15 分未満
	4. 徒歩 15～30 分未満	5. 徒歩 30 分以上	6. 徒歩では行けない
理想と考える立地環境	1. 徒歩 5 分未満	2. 徒歩 5～10 分未満	3. 徒歩 10～15 分未満
	4. 徒歩 15～30 分未満	5. 徒歩 30 分以上	6. 徒歩で行けなくていい

問6 住んでいる場所の利便性（現状及び将来）についてお聞きします。

ご自宅と市内の各施設の連絡について、「現在の環境」と「今後の希望」をお答えください。

(①～⑨の施設ごとにそれぞれ○)

市内の施設内容	現在の環境			今後の希望		
	徒歩・ 自転車で行ける	公共交通 で行ける (タクシー含む)	自家用車 でないと 行けない	徒歩・ 自転車で行ける	公共交通 で行ける (タクシー含む)	自家用車 で行ければ 良い
(回答例) ○○施設	徒 歩	公共交通	自家用車	徒 歩	公共交通	自家用車
①医療施設	徒 歩	公共交通	自家用車	徒 歩	公共交通	自家用車
②介護福祉施設 (総合福祉センター、市内老人介護施設など)	徒 歩	公共交通	自家用車	徒 歩	公共交通	自家用車
③子育て施設 (子育て支援センター「はみんぐ」など)	徒 歩	公共交通	自家用車	徒 歩	公共交通	自家用車
④学校教育施設	徒 歩	公共交通	自家用車	徒 歩	公共交通	自家用車
⑤商業施設 (普段、ご利用される商店など)	徒 歩	公共交通	自家用車	徒 歩	公共交通	自家用車
⑥行政サービス施設 (市役所、警察署など)	徒 歩	公共交通	自家用車	徒 歩	公共交通	自家用車
⑦文化交流施設 (市民会館、図書館など)	徒 歩	公共交通	自家用車	徒 歩	公共交通	自家用車
⑧体育施設	徒 歩	公共交通	自家用車	徒 歩	公共交通	自家用車
⑨小規模集会施設 (生活館、福祉会館、サークル活動に使われる施設など)	徒 歩	公共交通	自家用車	徒 歩	公共交通	自家用車

問7 もし現在のお住まいから住み替えるとしたら、どのような環境に住みたいでしょうか。

(一つに○)

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 中心部やその周辺部 | 2. 市街地周辺部の田園環境や自然環境に接する環境 |
| 3. 農村部の田園風景がある環境 | 4. 山間部等の森林に近い環境 |
| 5. 住み替える意向なし | |
| 6. その他 (|) |

ご注意！：問8～問10は、問7の回答に関わらずにお答えください。

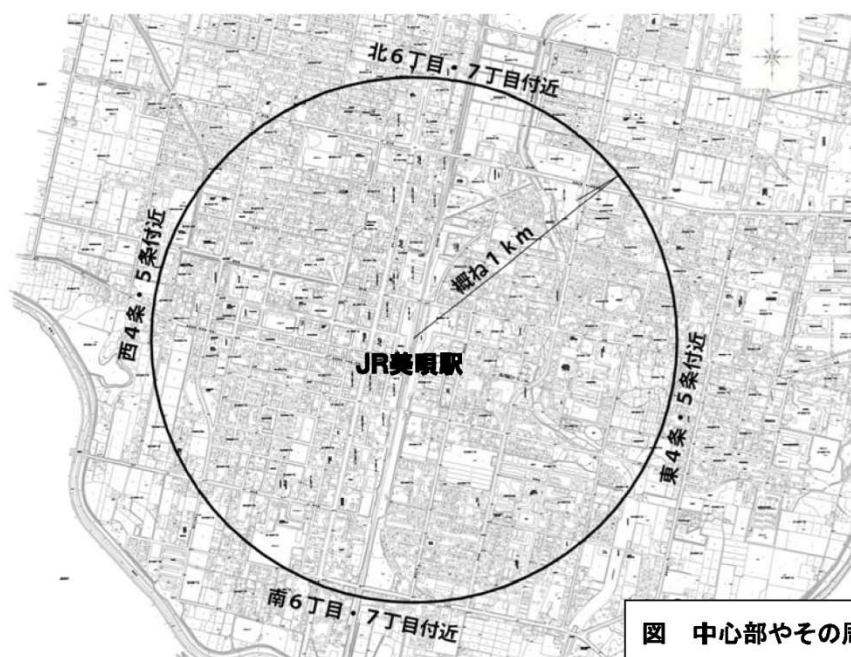


図 中心部やその周辺部

問8 もし中心部やその周辺部に住むとしたら、その条件をお答えください。(三つ以内に○)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| 1. 市民バスなど気軽に利用できる公共交通が今よりも確保されていること | |
| 2. 除雪などが軽減される集合住宅に住めること | |
| 3. 十分な広さがある戸建て住宅に住めること | 4. 土地が安価で購入できること |
| 5. 現在よりも防犯など安全性が確保されること | 6. 公園など緑が充実していること |
| 7. 病院やクリニックに歩いて通院できること | 8. 職場に歩いて通勤できること |
| 9. スーパーやコンビニエンスストアに歩いて行けること | |
| 10. 幼稚園など子育て支援施設に歩いて通園できること | |
| 11. 集会施設や図書館、体育館などに歩いて行けること | |
| 12. 道路など公共空間の除排雪が充実していること | |
| 13. 中心部やその周辺部に住むつもりはない | |
| 14. その他 (|) |

(一つに〇)

- 問 10 もし現在の場所から住み替えるとしたら、どのような支援があると良いと思いますか。

1. 住宅購入費に対する支援
2. リフォームや増改築のための費用に対する支援
3. 賃貸住宅の家賃等に対する支援
4. 転居に伴う費用に対する支援
5. 現在居住している住宅・土地の売却・除却等に対する支援
6. 空き家や空き地に関する情報提供
7. 住み替え先の地域に関する情報提供（子育て環境や介護・福祉施設の情報など）
8. どのような支援があっても住み替えない
9. その他（

問 1 1 市内外問わず外出する際の目的別に、最もよく使う移動手段をお答えください。

(①～⑥の該当箇所には○)

※1回の移動で複数手段を利用する場合は重複して○をつけて構いません。

4

問 1 2 車の保有状況をお答えください。(一つに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 世帯で車を持ち、自分も運転している | 2. 世帯に車はあるが、自分は運転しない |
| 3. 世帯で車を保有していない | |

問 1 3 自動車運転免許の返納を考えていますか。(一つに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 運転しない・運転免許を持っていない | 2. 返納した |
| 3. 具体的に検討している (____歳ごろに返納) | 4. 具体的ではないが検討している |
| 5. 検討していない・まだ返納を考える年齢ではない | |

問 1 4 将来(10年後ぐらい)、外出に不安はありますか。また、不安を解消していくために最も充実すべき公共交通手段をお選びください。さらに、最も充実すべき内容をお答えください。

① 将来、外出に不安はありますか (一つに○)	1. 不安はない 2. どちらともいえない 3. 不安がある
② 最も充実すべき公共交通はどれですか (一つに○)	1. 鉄道 2. 中央バス 3. 市民バス東線 4. 南美唄線 5. 市民バス西線 (スクールバス混乗を含む) 6. 乗合タクシー 7. タクシー
③ 「②」で「鉄道」と「バス」をお答えの方にお聞きします。最も充実すべき内容はどれですか (一つに○)	1. 増便 2. 始発便の時刻を早くする 3. 最終便の時刻を遅くする 4. バス路線を拡大する (具体的な地域の名称: _____) 5. バス停留所を増やす (住所・最寄りの施設等: _____) 6. 時刻表や公共交通の乗り方がわかるパンフレットを配布する 7. その他 (_____)

4. 将来のまちづくりについてお尋ねします。

問 1 5 今後、まちの中心部をより便利にして住みやすくしていくためには、どのような施設の集積や整備を行うべきかお答えください。(三つ以内に○)

1. 住宅	2. 医療施設	3. 子育て施設	4. 学校教育施設	5. 文化交流施設
6. 介護福祉施設（特別養護老人ホームなど）	7. 高齢者住宅（サービス付き高齢者住宅など）			
8. 障がい者支援施設	9. 商業施設	10. 行政サービス施設	11. 体育施設	
12. 集会施設	13. 道路（車道）	14. 道路（歩道）	15. 公園・緑地	
16. 案内板	17. その他（			）

問 1 6 中心部に施設を立地していく場合、その方法についてあなたの考え方に近いものをお選びください。(それぞれ一つに○)

回 答 例	1. 積極的に実施すべき	2. どちらかといえ ば実施すべき	3. どちらかといえ ば実施すべきではない	4. 実施すべきではない
①複合化・多機能化 (市役所と他の施設の複合化)	1. 積極的に実施すべき	2. どちらかといえ ば実施すべき	3. どちらかといえ ば実施すべきではない	4. 実施すべきではない
②広域化 (近隣市町との連携)	1. 積極的に実施すべき	2. どちらかといえ ば実施すべき	3. どちらかといえ ば実施すべきではない	4. 実施すべきではない
③現況施設の長寿命化 (補強・修繕)	1. 積極的に実施すべき	2. どちらかといえ ば実施すべき	3. どちらかといえ ば実施すべきではない	4. 実施すべきではない
④民間との連携 (民間施設との合築、指定管理者 制度の導入)	1. 積極的に実施すべき	2. どちらかといえ ば実施すべき	3. どちらかといえ ば実施すべきではない	4. 実施すべきではない
⑤公的な未利用地、未利 用建築物の活用	1. 積極的に実施すべき	2. どちらかといえ ば実施すべき	3. どちらかといえ ば実施すべきではない	4. 実施すべきではない
⑥経済的な支援 (民間への補助金、交付金)	1. 積極的に実施すべき	2. どちらかといえ ば実施すべき	3. どちらかといえ ば実施すべきではない	4. 実施すべきではない

問 17 現在のまちの中心部イメージについて、どのように感じますか。(一つに○)

回答例	1. 感じる	2. 少し感じる	3. ☒ あまり感じない	4. 感じない
①公共交通により行きやすい	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
②歩道が整備されて歩きやすい	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
③道路が整備されて自家用車で行きやすい	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
④駅前が広く快適である	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
⑤未利用地が少なく土地が有効に活用されている	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
⑥多様な事業所や店舗が集積して働く場所がある	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
⑦市役所、市民会館、市立図書館、総合福祉センター等の公共施設が充実している	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
⑧大型店や商店街に賑わいがある	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
⑨商業・業務施設、公共建築物、住宅が共存している	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
⑩活発な市民活動やイベント等が開催されて活気がある	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
⑪公園や街路樹などにより、緑が充実している	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
⑫美唄らしい魅力的な都市景観を有する	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
⑬歴史・文化資源など地域固有の魅力がありこれを活かしている	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
⑭歩いて暮らせる地域である	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
⑮冬期間も暮らしやすい地域である	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない
⑯その他 ()	1. 感じる	2. 少し感じる	3. あまり感じない	4. 感じない

問 18 今後、まちの中心部を整えていくにあたって、問 17 の①～⑯から重要なものを3つお選びください。(問 17 の①～⑯から3つ選んで番号を記入)

--	--	--

問19 その他、「コンパクトなまちづくり」や「公共交通」などについて、ご意見がありましたら、ご記入ください。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。